

私これではじめました！

地域で市民活動をしている人たちの「はじめの一步」を紹介するコーナーです。前回の支援センターだより（平成21年2月から平成23年4月）に掲載した24人の「きっかけ」は、とても好評でした。昨年より、第2弾として新たな方を紹介しています。今回紹介する方々ほどのようなきっかけで活動を始めたのでしょうか…。

◆◆一日だけのボランティアに参加して

秋山 典久
No.11

自宅と職場を往復する毎日で（終電車の常連客）地域の活動は無縁と思っていました。そんな自分に転機が訪れたのは平成20年度に自治会の役員が廻ってきた時です。その役員会がきっかけで出会えた人達と時間を共有し交流を深めるうちに、もう少し地域のための活動に時間を作りたいと思う気持ちが芽生えてきました。

その矢先に『さかえ市民みゅーじかるの会』が主催する第1回公演【優しい龍の物語】の当日ボランティアに参加する機会を得ました。1日だけならと気楽な気持ちで参加しました。その公演がきっかけで当日ボランティアとして参加した数名で後援会の必要性を感じ準備を進めました。そして自分もその輪の一員となり後援会組織として『みゅーじかるを支える会』の発足となりました。

現在、会員数32名を有し、今年で3年目を迎えようとしています。また、住民活動ふれあいまつり2014の実行委員として加わることができ地域の方との交流が広がりました。この経験を大切にして自分のできることを、自分のできる範囲で行ない、これからも地域のつながりを大切にしていきたいと思います。

◆◆自治会の回覧から

安永 順子
No.12

ボランティアをするきっかけは、今思うと20年くらい前に介護センターの入浴・食事介助を手伝ったことが始まりでした。それまでは、PTA役員は経験したものの全く無縁の世界でした。

12年前、同じ町内の方が「自治会の回覧を見た？福祉ボランティアを立ち上げるようだけど一緒にやりましょうよ」と誘ってくれました。少し迷いましたが、関わるようになって今まで知らなかった世界がパッと開けたようでした。周りにいる人達の生き生きと動く姿を見て感化され、真剣に取り組むようになってきました。

今では公園を利用しよう、町中を花でいっぱいにするなど考え取り組んでいる団体で活動しています。

初めにボランティアで関わったげやきの会は昨年から代表を受けています。「知り合い、ふれあい、助け合い」をモットーに地域の仲間たちと、明るく楽しく世代間を越えた温かいつながりを長く続けていくことを願っています。



◆◆きっかけは自治会班長

中村 光夫
No.13

会社と自宅を往復する毎日、子育てや親の介護は妻任せ、もちろん自治会活動など参加した事もなく自分自身、平成18年8年前順番制により自治会班長職が回ってきました。退職し、2人の子どもも成人し、両親を見送り一段落し、暇を持て余していた自分にとって『少しは退屈しのぎになるかな？』位の軽い気持ちで参加した自治会活動でしたが、意外や意外楽しかったのです。夏祭りなどイベントを担当する専門部に所属し、あつという間の1年間でした。

その後、役員を2年経験し自治会会長になり、他地域の方々と親睦会など交流を深める機会を通じて多くの諸先輩の知己を得ることができました。

現在、地元の『サロン酒直台』のほかいくつかの会で活動し、『満たされた日々』をすごしている。『きっかけはあの時自治会班長との出会いがあったから』と確信しています。